

今、セネガルは冬のはずですが1月は日中の気温が大して下がらず、2月に入っても暑い日が続いていて冬がまだ始まっていないように感じますが、皆様如何お過ごしでしょうか。

2月1日に天皇誕生日レセプションを行うことができ、「さあ、これからは大統領選挙への対応だ」と気持ちを切り替えようとしていた矢先に、2月3日、選挙戦開始直前にサル大統領が選挙の延期を発表しました。候補者の資格認定に関連して憲法評議会の手続きに国民議会が疑惑をもち、憲法評議会と議会との対立が生じ、このまま選挙を行えば選挙の信頼性が損なわれる可能性があるというのが主たる理由です。本使はもとよりおそらくほとんどのセネガル国民にとって寝耳に水の話であったでしょう。一瞬緊張が高まりました。その後5日夜に国民議会が大統領選挙を本年12月15日まで延期する法案を採択しました。

こうした状況に対して各国は強い懸念を表明していますが、日本政府としては、「セネガルが有する長い民主主義の伝統に基づき、選挙プロセスが民主的、包摂的、平和裏に進むよう呼びかけるとともに状況を注視していく」との立場です。また、治安状況が悪化する可能性もあるため、大使館としては引き続き情報収集を積極的に行い、要すれば領事メール等を通じて皆様の注意喚起に努めていきます。

大統領選挙を巡る政治情勢は当面不透明な、混乱した状況が続くことになる可能性があります。直ちに治安状況の悪化につながるとは思えませんが、邦人の皆様も暫くの間は注意して状況をフォローして頂くのが良いと思います。

本年は、先ず1月19日に邦人の皆様に招待して新年賀詞交換会を行いました。今年はコロナの影響がなくなったこともあり、昨年の倍以上の175名の方々に参加して頂きました。本使は二国間関係の基盤は人の絆だと考えていますが、今年はセネガルに戻りつつある JOCV の方々にも多く参加して頂くことができました。若い人、JOCV や NISEN CO-LAB のような若い方々の活躍は両国関係を進めていく牽引力になると思います。

人の交流に関しては、チャム首相府政府事務局技術協力局長がセネガル政府の中で日本との経済協力分野における交流を担当して来ました。彼の40年以上にわたる日本との交流への貢献に対して旭日中綬章が授与され、この新年賀詞交換会に併せて叙勲式を行うことができました。叙勲式には JOCV の皆さんも参列して頂き、感謝の言葉を伝えて頂きました。今月号にチャムさんのスピーチの骨子を載せました。彼のこれまでの貢献に改めて感謝したいと思います。

2月1日には天皇誕生日レセプションを催しました。セネガル人関係者や外交団を中心に300人程の参加者をえて盛大に開催することができました。

当初はセネガル政府を代表する閣僚としてカ経済・計画・協力大臣が予定されていたのですが、レセプションの前日になって外国訪問に同行していたサル大統領の専用機のダカール到着が遅れることになり、前日にンバイ漁業・海洋経済大臣に交代しました。カ経済大臣は2週間前に訪日して日本政府や経済界の要人と会談をしてきたので、カ経済大臣の出席は時宜を得たものだったのですが、ンバイ漁業大臣も様々な経済協力案件で日本に係わっているため、結果として日本にとって有意義な閣僚の参加を得ることができました。

天皇誕生日レセプションは日本とセネガルとの関係強化が重要な目的ですが、今回は昨年よりも多くの日本企業に企業展示に参加して頂き、皆様の活動をアピールして頂くことができ大変良かったと思います。参加された企業の皆様ありがとうございました。

レセプションにはできるだけ多くのセネガル人と外交団を招待しようとした結果、公邸の収容可能人数の制限から邦人の皆様に招待することができなかったのですが、来年は限られた人数になると思いますが、邦人の方々にもご招待できればと考えています。